

予算の趣旨と目的が

適正・効率的か
行政効果は、
今後の改善は!!

決算特別委員会の審査

平成26年度決算を審査するため、決算特別委員会を8月会議初日(8月31日)に設置し、委員長に関悦子議員、副委員長に川上健一議員を選任しました。

決算は行政全般にわたる事項のため、2つの分科会を設け、各6名の委員(分科会長含む)で審査しました。

分科会審査は、9月8~9日、16日の3日間に集中して行い、対象となる会計は、一般会計、6特別会計、企業会計(水道事業)の8会計で、審査の結果すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。



地域おこし隊の日影さん

講演会やフォーラム等の講師謝礼150万円、研究員2名の人件費分420万円を支出。将来ビジョンはこれから作っていききたい。

☆農林水産業費の論点
フラワースセンター改修は
元農家と都市消費者の交流拠点に改修する計画の進捗状況はどうか。財産処分をするという方針は変わったのか。
国庫補助施設の用途変更で難航していた。現在、新規就農者の育成・拠点施設に改修できるように、県・国へ働きかけている。

☆土木費の論点
雨水排水計画の内容は
雨水排水計画の見直し
増えない新規就農問題は
新規就農者を毎年10人ずつ増やす目標だが、26年度はゼロだった。どこに問題があったか検討したのか。
「おぶせで農業」は、就農に結びつかないことを学んだ。農業未経験者には、まず農業体験、中長期の体験と系統的に農業に手を染めてもらうことで就農に結び付けたい。

☆水道事業会計の論点
運営費増の理由は
前年と比較すると、ポンプ動力費が400万円の増、電算システム賃借料が60万円増加しているが、その要因は何か。
ポンプ動力費増は、消費税upによるもので、電算システム賃借料増加はシステムの変更に伴うものである。

第1分科会

わたしたちで審査しました



審査分担は

- (分科会長) 川上健一・(副)福島浩洋
- ① 一般会計の全歳入と歳出は民生・衛生・教育費を除くすべて
 - ② 特別会計は下水道会計、農業集落排水事業会計と水道事業会計、



フラワースセンターの現状



新規就農の元気な井田夫妻

26年度 全決算を認定

一般会計

町制60周年・公会堂耐震化など成果

監査委員の意見

行財政運営は概ね妥当



監査委員 関谷 明生



代表監査委員 畔上 洋

監査は小布施町の財務に関する事務の執行及び経営に関する事業の管理等が、住民福祉の増進、事務事業の効率性・有効性、組織及び運営の合理化、規模の適正化等に主眼を置いて実施致しました。

その結果、①予算及び事務の執行並びに財産管理等財務に関する事務の執行は適正にされており、②一般会計、国民健康保険特別会計他5つの特別会計及び水道事業会計の歳入歳出決算書並びに係書類は法令に準拠し、計数も正確であると認められました。その他全体を通して、積極性に

富んだ行財政運営は円滑に実施され概ね妥当、健全なものとして評価しました。

次に今後の行政運営に関する事項として

- 1 新組織での健全且つ有効な内部統制の構築と運用の早期整備をお願いする。
- 2 国民健康保険特別会計において、国保財政調整基金の枯渇は必至であり、喫緊の課題である。早期に対策に取り組んで欲しい。
- 3 事業を単純に実施するのではなく、費用対効果や有効性・効率性を充分に見極めた予算編成を行っていただきたい。

4 町内施設において経年劣化が進み大規模な修繕が必要になってきている。その緊急性、安全面を考慮すると共に財政状況を見極めながら計画的にその整備を進められたい。

以上の通りですが、昨年度は町制施行60周年記念事業や公会堂耐震改修補助事業も成功裏に消化致しました。今後において変化する住民生活に呼応し、町全体の発展を目指すエネルギーは大変であり、又政策形成能力の拡大も要求されることを痛切に実感しております。

決算特別委員会は、予算の執行又は事業経営が、適正かつ効率的に行われているかどうか主眼をおき、また、今後の行財政運営において改善・工夫すべき点はないか等の観点から決算審査を実施した。

平成26年度は、町政施行60周年の節目にあたり、町づくりの原点に回帰し、未来の可能性を探る年と位置付けられ、「攻める農業」「多様性と交流を学ぶ場」「健康長寿の町」「充実した子育て環境の整備」「安心して住めるまちづくり」を重点事業に予算執行が行われ、それらの決算について審査を進めた。

町の行財政を取り巻く環境は、大変厳しいものがあるが、審査を通じて、未来に希望の持てる町づくりや環境整備に、最大限の知恵を出し合い、支え合いの精神で取り組む必要性を再確認することができた。

知恵と支え合いの
継続取り組みを

決算特別委員長 関悦子

27年度 補正予算・条例改正の審議

提出された議案は、マイナンバー制度導入のために必要な条例改正2件。26年度決算が確定したことによる繰越金や交付金・補助金等の決定による、6会計の補正予算案です。

決算特別委員会審査と併せて審議し、議案ごとに、委員会審議・全議員による討論を行い、本会議で原案のとおり可決しました。

国民健康保険の財源不足を補うための基金取り崩しをこのまま続けると底をつく。いつごろと予測するのか。

医療費が増加傾向だが、昨年度は心疾患手術があったというのだが、こういう傾向は続くのか。

このまま推移すれば28年度は基金が非常に厳しい。

国保会計

国保の基金繰入額
更に2400万円

社会文教常任委員会

マイナンバーカードの再発行手数料を規定

条例改正

紛失・破損などによる再交付の場合、手続に要する時間はどの程度かかるのか。手数料の額は一般的に見て妥当か。

個人番号カードの場合、申請から約一週間ほどで再交付できる見込。

手数料は、通知カードが500円、個人番号カードは800円だが、国の指導の下に設定しているので、近隣市町村と同額である。

8月会議最終日の18日、町教育委員会委員に小林潔氏(48・大島)を再任する人事案に同意、任期は3年間で。



小林潔さん

教育委員の再任に同意

個人番号カード



(写真はイメージです)

個人情報保護条例の改正
今回の条例改正は、マイナンバー制度上の情報を「特定個人情報」と位置づけ、厳格に保護措置を講ずるものです。全員賛成で可決しました。

納税希望額が当初計画を上回り、目標を5千万円にupした必要経費。感謝特典を滞在型コースと農産加工品のコースを用意し、農・商を中心に町の活性化に結び付けたい。

平成27年度 各会計の補正額と採決状況							
区 分	補正前の額	補正額	計	増減	委員会	本会議	
一 般 会 計	44億9566万円	3億0123万円	47億9689万円	6.7%	全員賛成	全員賛成	
特別会計	国民健康保険	16億1349万円	583万円	0.4%	全員賛成	全員賛成	
	後期高齢者医療	1億2043万円	392万円	3.3%	全員賛成	全員賛成	
	介護保険	9億5869万円	1296万円	1.4%	全員賛成	全員賛成	
	下水道事業	4億7555万円	17万円	0.0%	全員賛成	全員賛成	
	農業集落排水事業	1億8526万円	39万円	0.2%	全員賛成	全員賛成	

※1 1万円以下を切り捨てのため、合計が合わない場合があります。

決算特別委員会の審査



検診をすすめる保健師

利用者数がなぜ増えたか
① デイサービスセンターの利用者数が前年より増えた理由は何か。活動指標の推移はどういう考えで出しているのか。

従来、年間延べ利用人数が9000人弱であったが、昨年は10000人増となった。委託事業なので利用者が増加した理由までは把握できていない。

建設費抑制の工夫を
① わかば保育園増築工事内容は何か。町全体の建物の建設予算を抑える検討をしてほしい。いろいろな設計士の意見も聞くことも大事ではないか。

保育室を増設したことで年齢ごとに分けて保育することができた。

公共建設は一定の基準を確保しなければならない。他の設計士の意見を聞くことはむずかしい。

町内の医療機関に支援を



小学校に導入した太陽光発電

地域医療体制整備で、一医療機関に継続して補助金を出すのは公平性に欠けるのではないのか。町内全体の医療機関を支援したほうが医療体制が充実するのではないか。今後の地域医療体制は戦略的にどう進めるのか。

新生病院を、町内の中核病院として医療資源を安定化するための支援として2000万円の助成をした。



未満児室を増築したわかば保育園

民生費では、子ども、障害者、高齢者など、すべての町民への福祉事業がきちんと行き届いているかを審議。

衛生費は、あかちゃんが生まれる前から高齢者までの健康と医療機関との連携等住民の健康保持について。

審査の視点

分科会長 小林正子

環境問題では、資源物がきちんと再利用され、可燃物の減量化の努力と町内環境で空気中や河川の汚染等についての進捗具合の審議。

教育費では、小・中学校、幼稚園・保育園等の環境は万全か。社会教育、生涯学習は住民ニーズにきちんと応えているかを重点審議した。

英語講師の効果は
① 外国人英語教師の効果について、高校生への追跡調査をしているのか。

追跡調査はしていない

発電量のみえる化によるパネルで、天候と発電量を身をもって学んでいる。

小学校へ太陽光発電を設置したが、児童への学習はどのように取り組んでいるのか。



施設でも職員といきいき歌う

第2分科会

わたしたちで審査しました



審査分担は

- (分科会長) 小林正子・(副)中村雅代
- ① 一般会計の内、民生・衛生・教育費と関連する歳入
- ② 特別会計は、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、同和対策地区住宅新築資金等貸付事業特別会計

今後に必要な支援策と位置付けている。

受診率向上の施策は

基本健康調査の受診率は他の市町村と比較してどうか。受診率向上のためにどう取り組んでいるのか。

18歳から39歳を対象に町民検診を実施、20歳・30歳は自己負担をゼロにしたが低調であった。訪問やPR活動は今後も根気よくしていきたい。

教育費の論点

自然エネルギー教育は

小学校へ太陽光発電を

が、H-LAB等に積極参加をしてくる生徒があることから効果はあると認識している。

目指す図書館の姿は
① まちとしてテラソは今後どんな図書館を目指すのか。

開かれた、集うことのできる、情報発信源としての機能を発揮できる図書館を目指す。

平成26年度 各会計の決算概要と採決状況					
区 分	歳 入	歳 出	委員会	本会議	
一 般 会 計	50億8580万円	47億4595万円	全員賛成	賛成多数	
特別会計	国民健康保険	13億8987万円	13億7403万円	全員賛成	賛成多数
	後期高齢者医療	1億1997万円	1億1604万円	全員賛成	賛成多数
	介護保険	9億1017万円	8億9282万円	全員賛成	賛成多数
	下水道事業	4億4901万円	4億4853万円	全員賛成	全員賛成
	農業集落排水事業	1億8644万円	1億8595万円	全員賛成	全員賛成
	水道事業(収益的収支(資本的収支)	2億3022万円 380万円	1億9167万円 1億3375万円	全員賛成	全員賛成

※1 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計は100万円以下のため省略しました。

※2 1万円以下を切り捨てのため、合計が合わない場合があります。

7月・8月会議における

みなさまからの 請願・陳情

政策立案常任委員会で審議いたしました。「安保法案」で討論白熱

◆「安保法案」の廃案を求める請願。

小布施九条の会

代表者 桜井 佐七

廃案賛成意見

○憲法違反であり、国民世論に背くもの。

○中国で懸念される脅威は、少数民族問題を外に向けさせているだけ。外交交渉で解決すべきだ。

廃案慎重意見

○戦争に反対は同意見、だが中国の目に余る行為が心配だ。

○趣旨は理解する。もっと時間をかけて慎重審議すべきである。

◎委員会採決

4対2で請願を採択

◎本会議

8対5でこの請願は採択された。

7月会議での請願

請願

◆「35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める」請願。

請願人

連合長野高水地域協議会須高地区連合

長野県教職員組合小布施単組

単組長 永藤 章雄



35人以下学級推進を説明する永藤氏

8月会議での請願・陳情

主な質疑

○文科省は、今後10年間に教職員3万人を増やすという計画があるが把握しているか。

○この請願により、先生の過重労働の解消になるのか。

◎委員会採決

全員賛成

◎本会議

全員賛成―採択

陳情

◆森林を守るための財源確保の陳情

陳情人

中部地方森林労連

執行委員長 澤口 篤夫

陳情の趣旨

森林は、食料や水、木材・エネルギー等の供給や二酸化炭素の吸

収など、国民の安全・安心、国土・環境を守る重要な国民の財産である。それに係る安定財源の確保及び山村振興対策の推進に係る陳情である。

主な質疑

○安定財源確保のために、新法創設の考えはないのか。

○地球温暖化対策のための税の使途に、森林吸収源に追加することについて経団連は反対しているが、これにどのように反論するのか。

◎委員会採決

全員賛成

◎本会議

全員賛成―採択

政策立案常任委員会への申出書状
況

(平成27年9月現在)

①議会と大学との連携協定の提案
申出者―関谷明生議員
結果Ⅱ採択―政策立案委員会で審議する。



森林を守るために財源確保説明の澤口氏

②住民投票条例(常設)の制定の提案
申出者―小淵 晃議員
結果Ⅱ採択―政策立案委員会で審議する。

③町道等幅員の回復による、きれいな街並みづくりの提案。

申出者―福島浩洋議員
結果Ⅱ趣旨採択―町へ要望書を提出する。

平成27年7・8月会議

本会議で賛否が分かれた議案		○賛成 ●反対													
請願	安保関連法案	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○
総産	小布施町個人情報保護条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算	平成26年度小布施町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	平成26年度小布施町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	〃 後期高齢者制度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	〃 介護保険	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は裁決に加わらない。



初めての協力隊員 日影詩織さん

Q 制度発足6年後に初めて小布施町が地域おこし協力隊を活用するに至った経緯は。募集要綱に①地域コミュニティの維持・再生②農業をはじめとした産業の振興③地域間交流及び移住・定住の促進④その他町長が必要と認める活動の4つの活動内容が明記されていますが任用の

A 内容はどれを主に担当するのか。制度の活動期間は1年以上3年以下となっていますが任期は来年の3月31日までで1年未満であり制度との整合性は。町としての移住・定住への支援プロセスは。小布施若者会議などをきっかけに「小布施で継続的に取組みを行いたい」といった声が聞かれるようになり、新しいまちづくりや起業の種を生み出すような取組みにチャレンジいただきたいと考え活用することにした。直面する少子高齢化、人口減少の波の中で、慶應SDM研究所の一員として、地域活性化、農業をはじめとする産業振興、地域間・世代間交流を推進していただきます。

Q 小布施総合公園へ設置されている一般道パーキングエリアは平日でも大変混み合います。

**「オアシスおぶせ」
駐車場対策
駐上建設水道課長
公園南側への誘導効果は
承知**

A 一般駐車場が満車になった際、デイキャンプ場側の出入口を開放して公園南側の駐車場への誘導は、既にふじ祭りの際に誘導員を付けて実施されており、効果があることは承知しています。秋の行楽期に試験的に実施をして、常設の検討は総合公園南側の駐車場の使用期間の更新等と合わせ検討します。



関谷明生議員

**地域おこし協力隊の使命は
新しいまちづくり
起業を生みだす取り組みに挑戦**

初年度は3月31日まで、翌年度、翌々年度は4月1日から3月31日まで、最終年度は4月1日から委嘱日の前日までの、合わせて3年間従事していただきます。3年後の自立を目指して計画的に準備していただき町としても移住定住、起業支援制度ほか現在地方創生で考えている新たな取り組みも加えて支援していきます。

ぐに満車になってしまっているのが現状です。隣接して「お百SHOPおぶせ」や「おぶせ物語」の農産物直売所、南側には「デイキャンプ場」があり来店者や利用者の方々の駐車場でもあります。昨年、電気自動車に対応した急速充電器も設置され稼働しています。満車・混雑解消に向けて現在通行禁止になっている南東の出口を開放し公園南側の普通車専用駐車場がスムーズに利用できるよう提案します。

「議会報告会&意見交換会」を全自治会で計画

小布施町議会は、町民のみな様の負託にこたえていくために、信頼され、透明性のある議会を目指しています。そのために、議会は、町民に議会の活動を説明し、議会活動に対する理解を得るため、議会報告会を開催すると同時に、町民の町政全般にわたる意見や要望政策として立案し町政に反映させるため意見交換会を28自治会すべてで行います。普段感じていることをお話しください。

第一回「議会報告会&意見交換会」を実施。

第一回目を、8月27日に中条公会堂にて、中条・松村・雁田自治会で行いました。

意見交換会でいただいた主な意見

- 議会の傍聴はどうすればよい？日程などは？
- 議員定数や報酬額はどうあるべきか、議論が必要
- 2期連続無投票だから定数減が良いというものではない
- 鳥獣害対策について、検討してほしい（猫も含めて）
- 大阪で起きた中学生殺人事件など、深夜の行動について対策を考えてほしい
- 管理されていない空き家対策を早急に
- マイナンバー制度の周知徹底を
- 通学路で、カラー舗装を歩く徹底を学校でしてほしい
- コミュニティ道路を、誤って進入し危険
- 総合体育館の屋根がかなり錆びて傷みがひどい。雨漏りしているので対応すべきである
- 生活灯のLED化をしてほしい
- J Aスタンドの歩道の標識が悪い。途中で歩道が途切れ、反対側に渡らなければならないため危険

いただいたご意見要望は議員全員で対応策を検討しています。まとめ次第ご報告致します。

8月会議一般質問

- | | |
|---|--|
| <p>関谷 明生…………… 9</p> <p>① 地域おこし協力隊の使命は</p> <p>② 「オアシスおぶせ」駐車場の満車・混雑解消に向けて」</p> <p>小林 茂…………… 10</p> <p>① 「変化する社会と公民館」のあり方検討を</p> <p>中村 雅代…………… 11</p> <p>① 総合戦略・総合計画策定について</p> <p>② 町における男女共同参画の推進状況は</p> <p>山岸 裕始…………… 12</p> <p>① 一般職の採用はどのような募集の周知を行なっているのか</p> <p>② 就園奨励費の導入検討は</p> <p>小淵 晃…………… 13</p> <p>① ふるさと納税の目標をより高く</p> <p>② 町民運動会のより一層の進化を</p> <p>小西 和実…………… 14</p> <p>① 中学生グローバル体験合宿の成果について</p> <p>② 小布施サマースクールの成果と今後のH-LAB関連事業の展望について</p> | <p>渡辺 建次…………… 15</p> <p>① 「健康ポイント」制度導入で医療費の抑制を</p> <p>② 通学路の安全確保と円滑な交通の流れ</p> <p>③ 松川流域とその周辺の熊の出没対策</p> <p>④ 小児科医と産科医と婦人科医の確保</p> <p>福島 浩洋…………… 16</p> <p>① 完成建物その後の瑕疵及びメンテナンス状況は</p> <p>川上 健一…………… 17</p> <p>① 雁田配水池更新事業について</p> <p>② 東部地区と北部地区に農産物直売所を</p> <p>小林 正子…………… 18</p> <p>① 小布施町高齢者福祉計画について</p> <p>② 町民の要望や願いにすぐ応えて、町内道路・歩道や町施設の保守点検と安全対策について</p> <p>③ 町内巡回バスの運行について</p> <p>関 悦子…………… 19</p> <p>① 今後の国民健康保険の運営の考え方は</p> <p>② 「住んでよし、訪れてよし」の町づくりを</p> |
|---|--|



小林 茂 議員

「変化する社会と公民館」のあり方検討を

池田教育次長 今以上に生涯学習の場を提供

Q

「公民館は、町が区域内の住民のために、実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する」ことを目的として掲げています。

意識の希薄化、活動の形骸化が見受けられます。過日の自治会長との懇談会でも、「分館活動への協力が年々得られなくなっている」「苦勞している」との声が多くありました。70周年の節目を迎えて、公民館運営の総括と今後の方策は。

A

公民館活動は、自主的に学びあい、教えあう相互学習を通じて、文化の向上、健康の

Q

分館活動の総括と今後の指導方針について。

A

分館は、地域に根ざした生涯学習の場を提供する立場から、極めて重要な役割を担って来ていただきました。今後も、地域の課題と向き合い取り組んでいただくため、公民館が、諸団体・諸機関と連絡や調整を図り分館活動の活性化に向けて支援を続けます。

Q

高齢化・少子化に歯止めがかからず、公民館活動を支える基盤が弱体化している。変

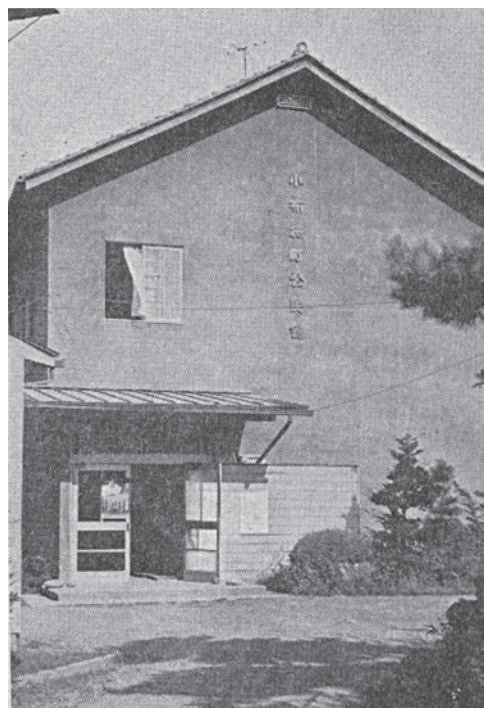
A

一人ひとりの資質・能力向上を通して、社会全体の活性化を図っていく「生涯学習社会」の実現を目指すことが極めて重要であらゆる機会にあらゆる場所において学習する環境を整えていきます。



「公民館分館として利用された松北劇場」
昭和23年には、小布施でも公民館規則を定め発足。翌年から松北劇場を公民館分館として社会教育施設として使われた。

(小布施町史より)



《青空公民館から施設の公民館へ》
昭和34年11月、公民館と並んで現在の役場庁舎が完成。独立した公民館の二階には洋式の結婚式場・畳敷き控室・小会議室を、階下には図書館・職員室・会議室が設けられた。

(小布施町史より)



中村雅代 議員

持続可能なまちづくりを目指しての計画策定とは

久保田副町長

住民意識アンケート調査結果を分析し、町民の意見反映に努める

Q

市町村においては、2015年までに「地方版総合戦略」の策定義務が課され、出産や育児に前向きになれるような制度の整備、地域における雇用創出など、基本理念として掲げられている。

小布施町でも第2回町基本構想審議会において住民意識アンケート調査結果を報告し「小布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子案」が示された。

今年度は前期基本計画の最終年度であり、まずは、前期基本計画の強化と改善が重要だと思われるが、目標達成など進捗状況はどうなっているのか。またそれらの総括をどのように行い、後期基本計画の修正や見直しを行っていくのか。また、総合戦略策定に向けた住民意識アンケート調査結果を踏まえて、総合計画との整合性をどのようにしていくのか、伺いたい。

A

6月18日に市村町長から基本構想審議会会長あてに第五次小布施町総合計画の見直しについて諮問を行い、幹事会においても見直しの作業を始めたところです。課ごとに分野別の事業などの内容・達成度の検証を行い、課題を見直し改善の方法を考え、後期基本計画に生かすべくまとめて

男女共同参画の推進状況は？

西原企画政策課長

実現に向け着実に推進していく

Q

小布施町では平成13年に「小布施町男女共同参画社会推進条例」を制定し平成16年には「小布施町男女共同参画基本計

A

男女共同参画推進委員会で会議を毎月1回開催し検討している。国の素案を参考とするほか、町独自の計画とするため、アンケート調査を実施する予定である。女性の係長職比率は23.5%で、内一般行政職は7.1%。課長、課長補佐級はゼロ。審議会委員は1割から3割となっており、教育委員においては40%です。町職員管理職の女性登用にも目標を定め勤務成績に基づいて任用を行っています。

一般職の採用募集について

田中総務課長

様々な方法を今後検討する



山岸裕始議員

Q 昨年度、小布施町では若干名の一般職の採用に向けて募集を行いました。

町報、町HPで新卒中途を問わず人材の募集をしましたが、20名の応募に対して採用者は0名という残念な結果に終わりました。

行政サービスの質は人材の質によつて決まります。人材をいかに採用し、育て、活用するかが効率的で良質な行政サービスにつながります。

小布施町が地方のトップランナーとして走り続けていくためには今後も小布施町で優秀な人材が育っていかなくてはなりません。

1. 小布施町のホームページのトップから求人募集ページへのバナーの作成や求人専用サイトの設置等の検討はされているのか。

2. SNSを活用して求人情報の発信は

3. その他外部サービスを利用した求人は

A 町報の掲載や同報無線・ホームページによりお知らせ

せした。

本年度、全国830校と連携している民間求人サイト「学校向け求人情報配信システム」に登録、また地方公務員採用試験の受験を希望する学生を対象とした「地方公務員採用試験案内」にも登録し、お知らせをした。

町のホームページは、今後はより見やすいようにバナーの作成等についても検討したい。

Facebook & Twitter などによるSNSの活用は、求人対象者は若い方が中心であり、有効な方法と考える。

県や大きな市では、パンフレットや募集チラシを作成し、より多くの学生に関心をもっていたくような工夫を行っており、今後検討をする。

幼稚園就園奨励費の検討は

中島教育長

実施はしない

Q

長野県内では就園奨励費を66市町村が取り入れています。

小布施町では今年度まで保護者からの信頼も厚い幼稚園があるためにこの制度の導入はしていませんでした。

認定こども園への移行に伴い、「子どもを幼稚園に通わせたい」という想いを持つ家庭への行政の支援と、お子さんの豊かな育ちの選択肢を増やす助けになるため就園奨励費の導入の検討を。

A

町外の私立幼稚園などに入園している子どもの世帯に就園奨励費を給付することは、町で多額の経費を投入している幼稚園があるため、二重に投資することになりかねないことから実施はしないという判断をしました。



子どもの豊かな育ちのための支援充実を

ふるさと納税の目標をより高く

市村町長

農業・商工業の振興のため、感謝特典の品物をより拡充する



小淵 晃議員

Q ふるさと納税は、平成20年4月30日に公布された

「地方税法等の一部を改正する法律」で始まり、本年の改正で特例控除額が住民税額の1割から2割になりました。

また給与所得者に限り、確定申

告が不要になり、ふるさと納税が簡単にできるようになりました。

○小布施町のふるさと納税は当初計画の三千万円を超え、五千万円に達する見込みです。担当者の努力を評価します。

○感謝特典のメニューが増えて魅力的になったが、これに満足せず、更に品目の開拓を。

○感謝特典の品物の集荷・検査・発送作業は万全を期すため体制の拡充を。

○ふるさと納税は財政面だけでなく、小布施町を知って頂き、町の特産品のPRにもなり産業振興にも貢献をすることを理解し、取り組んでほしい。

A

感謝特典の品物は農業・商工業関係者、及び関係される方々の協力を頂き、より一層

Q 今年の町民運動会は昨年度までの「オープン参加」を若者会議参加者・そして東京小布施会」等の皆さんにも1チームを編成し、参加いただき楽しい運動会にと提案をしてまいりました。

町民運動会の

一層の進化を

池田教育次長

準備は着実に進んでいる

A

「特別チーム」は町民運動会の企画会議、主将会議などで、趣旨を説明し了解をいただいております。

○小・中学生の選手は自治会を超えて依頼できるよう申し合わせをしました。

○応援席のテントは自治会と連絡をとり、町のテントをご利用頂けるサポートをします。

○慰労会は参加者の意向を確認し、開催する方向で進めます。



ふるさと納税で「子どもたちの笑顔の応援を」



小西和実議員

中学生グローバル体験合宿の成果について

中島教育長

自ら学びたいという気持ちを抱いてくれた

Q

今年度のダイジェスト版の予算説明書には、「自ら学び・自らチャレンジ」というスローガンで、日本の将来を担う中学生が、将来を模索し、関心を見つける場として、大学生や社会人、地域の人たちとの交流を軸に、世代・国籍・分野を超えたプログラムを取り入れた2泊3日のグローバル体験合宿を開催するとあった。今年から、昨年までの福島県のブリティッシュヒル



あつい議論をかわす高校生たち

ズでの英語合宿に代わり、町内中学生にもグローバル教育を体験いただくため、8月8日から10日の2泊3日で、希望者を対象に「グローバル合宿」を菅平の「須坂青年の家」で開催したいということだが、中学生グローバル体験合宿はH-LAB関連事業として開催され、この事業の実施内容、参加人数等を明示して費用対効果の観点も含めて事業成果について詳細に説明してください。

A

合宿に参加した中学生がH-LABのセミナーを見学し、交流会に参加しており、将来を見据え、自分なりの新たなチャレンジをスタートさせているように感じた。3日間の短い期間であるが、英語を学ぶ楽しさを味わい、自らもつと学びたいという気持ち

を抱いてくれたことは、一つの目的が果たせられたと考えている。

小布施サマースクールの成果と今後のE-LAB関連事業の展望について

中島教育長

チャレンジしている、という芽が育っている、今後も継続していく

Q

「日本の高校生が自らの進路を主体的かつ多様な選択肢から考えられる世の中に」をスローガンとした小布施×SummerSchool by H-LAB2015が8月14日から20日の6泊7日の日程で開催され、今年度で3回目となりました。3回目となる今回は町内参加者9名を含む全国から

集まった50名の高校生を対象に、ハーバード大学を中心とした国内外の大学生の皆さんにより開催されたということだが、今年度は平成26年の補正予算前倒し分100万円を含めておよそ300万円の予算で実施している。この事業の実施内容、参加人数等を明示して費用対効果の観点も含めて事業成果について詳細に説明を求めたい。また、今後のH-LAB関連事業の展望についても説明してください。

A

今年は町内から9名の高校生が参加し、またグローバル合宿に参加した中学生もこのH-LABサマースクールに参加したいと意欲を持っているため、次世代を担う若者が自分の進路においてチャレンジしていこうという芽が育ってきていると確信している。町内高校生の参加者も増加し、セミナーやフォーラムも充実してきており、今後も継続していきたいと考えている。



渡辺建次議員

「健康ポイント」制度の導入で医療費の抑制を

八代健康福祉課長

厚生労働省のガイドラインを参考にしたい

Q

「健康ポイント」制度とは、個人の運動・食生活の改善といった取り組みや、体重の減少に応じて特典すなわちポイントなどを受け取る仕組みです。受け取ったポイントは、体脂肪計やスポーツ施設の利用券などと交換できるものもあれば現金や保険料の割引を受けるケースもあるということです。新潟県見附市では、ポイント付与の運動プログラムなどにより、一人当たり年間10万円の医療費の削減効果が立証されたとのこと。小布施町が導入するとして、そのメリットは。また、最近の町の医療費の増加状況は。

A

町の医療費は年々増加しており平成25年は10億4500万円、平成26年は11億3131万円でした。「健康ポイント」制度のメリットは、健康づくりの意識の高揚につながることに、特定健診などの受診率の向上にもつながり、医療費の削減につながります。

通学路の安全確保と

円滑な交通の流れ

畔上建設水道課長

路側帯のカラー舗装等で安全確保を図りたい

Q

小布施町スマートインター出口交差点への歩車道分離信号機の設置をお願いできないか。

A

T字交差点の歩車道分離信号の制御基準は、警察庁の「歩車道分離式信号に関する指針」で、優先道路に右折・左折レーンが設置してある場合については制御可能となっており、道路改良工事を行わない限り歩車道分離信号は難しいです。

Q

矢島地区内の町道258号線が、通学時間帯に通勤車両の抜け道として利用されていることに対しての交通安全対策は。

A

車両の侵入を遠慮している、ただく看板による周知や、路側帯のカラー舗装等、現地を確認し対応したい。

Q

大島地区の通学路の安全対策と踏切の拡幅について伺います。

A

下松川橋から踏切の間は700メートルを、全線ではないがカラー舗装で、歩行者が優先して歩ける部分を設けることで検討・調整をしています。踏切の拡幅には、近隣の第4種踏切の統廃合が必要であるとの指導があり、地元の意見統一を大島自治会にお願いしています。

小児科医・婦人科医・産科医の確保に向けて

八代健康福祉課長

ある程度の負担をしても医師確保に努めたい

Q

現在の小布施における、子を産み育てるための必要な医療環境はどのような状況か。

A

須高地域の産科・婦人科医は須坂病院など4カ所、小児科医は岡野医院など6カ所です。

Q

将来の医師確保に向けて、医学生に対する奨学金返済義務の免除や、現役医師に対する損害賠償保険料の町負担などのお考えは。

A

須高三市町村では、平成20年に須坂病院産科医師確保のため、3000万円の支度金の貸与などの条例を定め支援した経過もあり、ある程度の負担をしても医師確保に努めたい。

松川流域とその周辺地域における熊の出没対策は

竹内産業振興課長

近隣市町村との緊密な情報共有と捕獲檻の設置とパトロールの強化を実施しています



福島浩洋議員

完成建物その後の瑕疵及びメンテナンスは発注者として設計者・施工業者へ速やかに適切な指導を行っているか

池田教育次長

早急に調査をし優先順位を決め対応いたします

Q

町営グラウンド、公衆トイレ「だれでもトイレ」の床が、いつも雨水が溜まっていて使用できない。いつまでに修復するのか。また、グラウンドにおいて少しまとまった雨が降ると黒土混じりの土砂が道路に流れ出てくる。装備した客土が流失していると思われるが対策は。

A

大変ご迷惑をかけている「だれでもトイレ」修復について現在の床よりも五センチ嵩上げし雨水の流入を防ぐ方法で、費用は設計者・施工業者の負担で今年の九月中に行います。また、グラウンドの黒土流失において地面及び地下浸透能力の向上を考えると多大な費用が予想されるため他施設の緊急性とも鑑みながら修繕計画をたて改修を進めてまいります。



「だれでもトイレ」の床の水溜り



現状のグラウンド地面

Q

新しく出来たエンゼルランドセンター駐車場の雨水排水不具合について近隣敷地内に流入・冠水に至っており大変ご迷

Q

重要な総合体育館が経年劣化により天井や壁からの雨漏り等の不具合が発生しており



雨水の流れと集水樹の位置

A

このような状況は建物の寿命にもつながることであり屋根を中心とした全体の改修工事の緊急性は非常に高い。優先して対応します。他の施設も順次修繕計画をたててまいります。



雨漏りの状況（バケツと壁）

雁田配水池更新事業について

市村町長

町のシンボルの施設となる



川上健一議員

先ごろ、建設水道課から雁田配水池更新事業募集要項について説明がありました。

この事業は、配水池の耐震化を目的とするもので、小布施町が全面的に飲用水を地下水に依存している現状を考えれば、耐震化に向けて早急に進めるべきと考えます。

Q

一般競争入札ではなく、設計・施行一括発注方式にしたのはなぜか、

A

この方式は、設計と施工を併せて一括発注するもので、受注者の持つ経験、新技術、過去の施工実績に基づく維持管理のノウハウを活用することによりコスト削減、工期短縮が図れ、維持管理についても適切に行うことが出来ると期待し、この方式を採用した。

Q

ランドマーク的施設としての位置づけに配慮したデザインとはどのようなものか。

A

配水池の建設予定地には、高区・中区・低区の3つの配水池を集約する計画で、特に高区。中区配水池は高架式になり、町内のほとんどの所から見え

るシンボリックな施設となると思う。町民に愛されるデザインを採用したいと考える。

Q

町政懇談会等で町民から意見を聞くことになると思うが、ランドマーク的施設について町民の意見を反映させる考えは。

※

9月上旬2社から落札希望価格が提示されたが、町の予定価格との乖離があり、この事業は見直しとなった。

Q

小布施町の水は地下水を汲み上げ各家庭に送水されている。この一連のシステムを子どもたちが学ぶことの出来る施設としての考えは。

A

施設内に子どもたちが分かり易く学ぶことができ、興味を持つてもらえるよう、新しい施設の紹介と合わせて学習でき

るような設備の設置なども考えていきたい。

東部・北部地区に

農産物直売所を

竹内産業振興課長

フラワーセンターは

その候補

町内にはいくつかの農産物直売所があるが、東部地区（都住地区六川・中子塚・矢島・清水）と北部地区（押羽・羽場・北岡）には農産物直売所が無いのが現状です。

Q

東部地区、北部地区活性化に向け直売所の設置の考えは。

A

フラワーセンターはその候補となるが、具体的な運営をどうするか課題を整理する必要があります。

都住駅周辺は、今後の活性化に向けたランドデザイン策定の中に、案として取り入れたい。



雁田山のふもとにある第2浄水場

